先端芸術表現科 入試説明会

2017年6月25日(日)

写真撮影禁止

東京藝術大学
美術学部
先端芸術表現科

あいさつ（ビデオレター）

東京藝術大学
美術学部長
先端芸術表現科　教授

日比野克彦

東京藝術大学
美術学部
先端芸術表現科

教員自己紹介

先端芸術表現科　カリキュラム

東京藝術大学
美術学部
先端芸術表現科

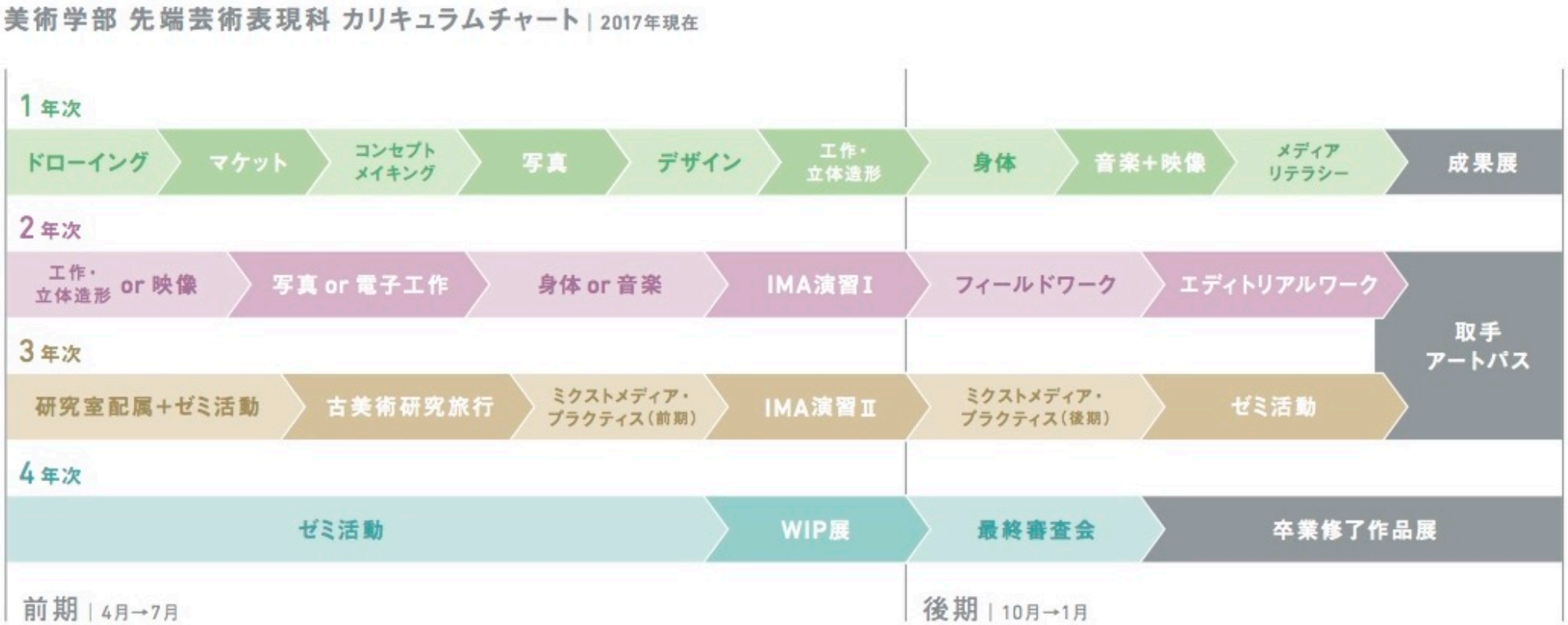
アドミッションポリシー

現代の美術を横断的に創造・研究するばかりではなく、美術を社会に向けて開いていく人材を求めています。

アイデアを作品としていくにあたって、構想力、造形力の萌芽が認められるかが大切です。選考にあたっては、過去の小さな結果よりは、将来、大きな仕事を成し遂げていく可能性があるか、その伸びしろを重視します。

センター入試の結果も含め、総合的に選考するのは、好奇心を怠らず、継続的に学業に取り組むことができるかを判断するためです。

美術学部先端芸術表現科 カリキュラム

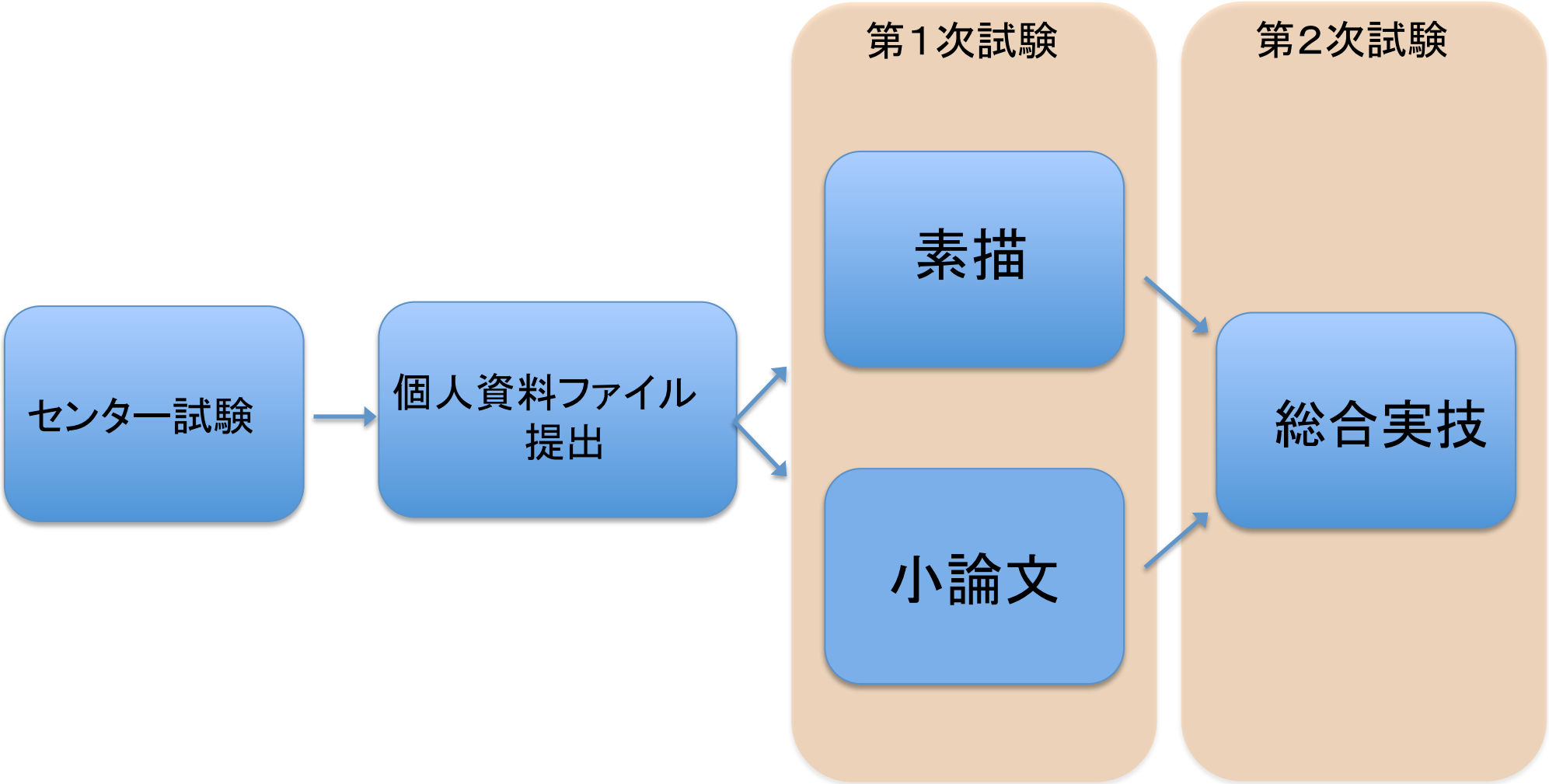


東京藝術大学
美術学部
先端芸術表現科

先端芸術表現科
入学試験科目説明

東京藝術大学
美術学部
先端芸術表現科

先端芸術表現科　試験科目



個人資料ファイル　＊H29年度　募集要項より

内容

A4ファイル1冊を使用し、20ページ以内に、これまでの自己の活動内容をまとめたもの。
受験番号と氏名を明記して下さい。
下記の①～④の内容を含むものにしてください。

①高校時代から現在までの履歴（1ページ以内）
②本科を志望する理由（1ページ以内）
③本科の志望につながるこれまでの活動内容
④入学後に本科で行いたいことの具体的内容

※個人資料ファイル内にCD, DVD等の資料を添付することは認めません。

※郵便(書留速達)又は宅配便による提出のみとし、
期間内必着(最終は17時必着)とします。

【第１次試験】

素描　＊H29年度　募集要項より

・試験時間：10:30～16:00（集合：9:30　休憩：1時間）

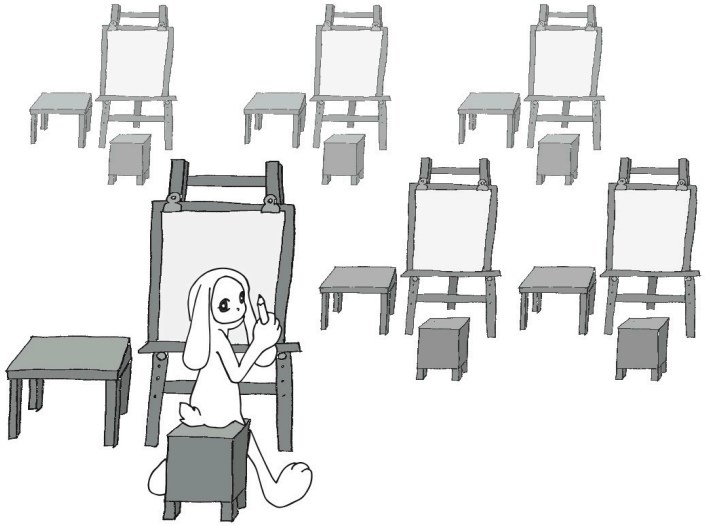
・持ち物：黒鉛筆素描に必要な用具一式

（画板、用紙、イーゼルは用意してあります。定着液は不要です。）

・場所：上野キャンパス 大学美術館内

＊昼ご飯は持参。

＊携帯電話及び撮影、通信機能を備えた電子機器の使用を禁止します。



【第１次試験】

小論文　＊H29年度　募集要項より

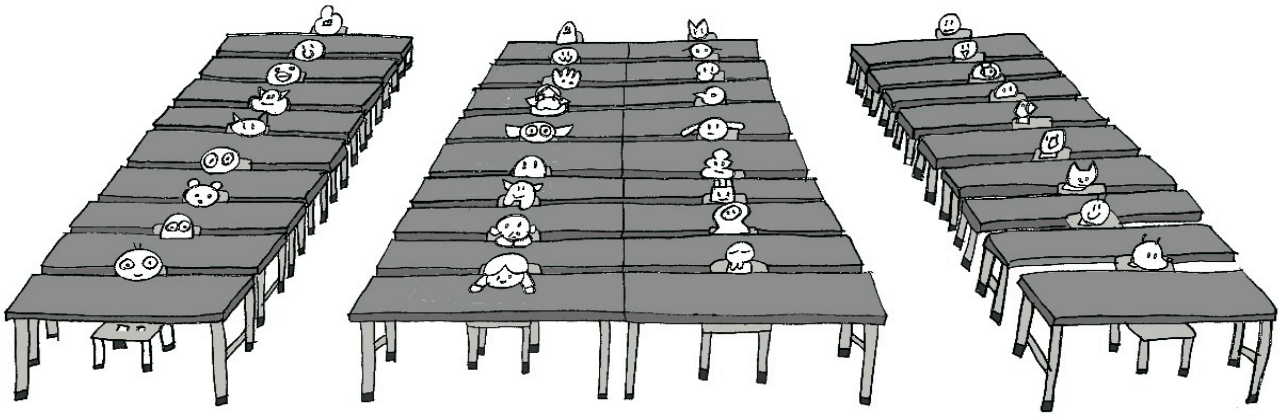
・試験時間：10:30～16:00（集合：9:40 休憩：1時間）

・持ち物：鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム

・場所：上野キャンパス 大学美術館内

＊昼ご飯は持参。

＊携帯電話及び撮影、通信機能を備えた電子機器の使用を禁止します。



【第２次試験】

総合実技　2日間　＊H29年度　募集要項より

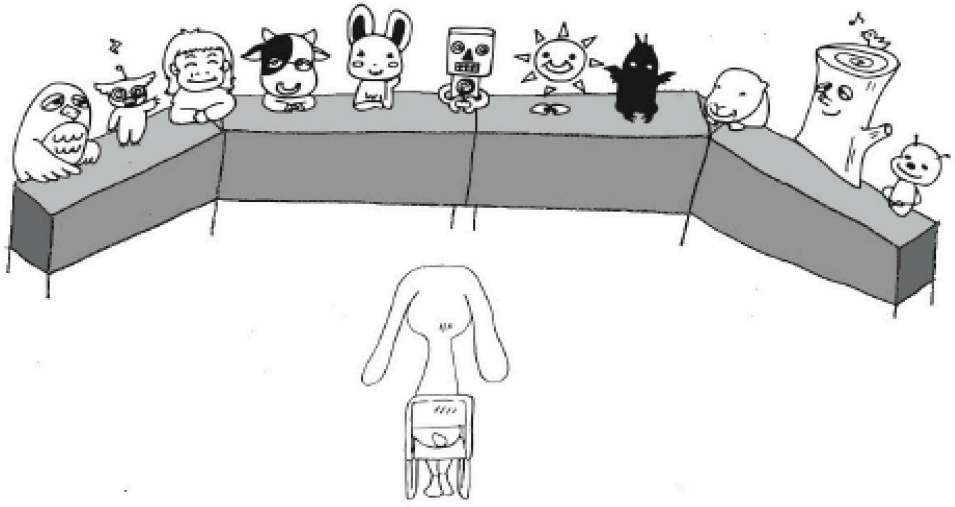
1日目

- **試験時間　10時～15時30分（集合：9時　休憩：1時間）**
- 持ち物：鉛筆などの筆記具,色鉛筆,はさみ,カッター,直定規（60cm以下）,のり
- 場所：上野キャンパス 大学美術館内

＊昼ご飯は持参。

2日目

- 1日目の試験終了後、2日目の集合時間を連絡。



H29年度
入学試験問題解説

東京藝術大学
美術学部
先端芸術表現科

個人資料ファイル

東京藝術大学
美術学部
先端芸術表現科

個人資料ファイル　＊H29年度　募集要項より

内容

A4ファイル1冊を使用し、20ページ以内に、これまでの自己の活動内容をまとめたもの。
受験番号と氏名を明記して下さい。
下記の①～④の内容を含むものにしてください。

①高校時代から現在までの履歴（1ページ以内）
②本科を志望する理由（1ページ以内）
③本科の志望につながるこれまでの活動内容
④入学後に本科で行いたいことの具体的内容

※個人資料ファイル内にCD, DVD等の資料を添付することは認めません。

※郵便(書留速達)又は宅配便による提出のみとし、
期間内必着(最終は17時必着)とします。

H29年度
「素描」

東京藝術大学
美術学部
先端芸術表現科

■問題

鏡に写った自分と同一グループ内の（将来の同級生になるかもしれない）人の肖像を配布された紙に描写しなさい。

※他の受験生に話しかけてはいけません。

※自分のイーゼル、モチーフ台、イスの位置や角度は描きやすいように変えても構いません。その際近くの人に迷惑がかからないようにしてください。

■配布物

問題用紙、鏡、木炭紙大画用紙（イラストボード）１枚、カルトン、クリップ２個、
下書き用紙（A4）３枚、画びょう5個

素描　評価のポイント

A)　出題の意図を理解し、適切な表現がされているか。

B)　基礎的な描写力が備わっているか。

C)　独自の発想力があるか。

D)　画面構成力が感じられるか。

※「素描」参考作品写真　３点（webでは公開なし）

H29年度
「小論文」

東京藝術大学
美術学部
先端芸術表現科

問題１
課題文Ａの傍線部①、著者の「ささやかな発見」とは何かを 200 字以内で説明しなさい。
解答は解答用紙の問１－①に記述しなさい。

また、課題文 A を読み、著者が手紙を送ろうとしている「X」とは著者にとってどのような存在であるかについて、自分の考えを 400 字以内で述べなさい。
解答は解答用紙の問１－②に記述しなさい。

問題２
課題文Ｂの傍線部②、著者が述べる「俺の興味をひく点」について、課題文をそのまま引用することなく 200 字以内で説明しなさい。
解答は解答用紙の問２－①に記述しなさい。

また、課題文 B の傍線部③、著者の「君はどう思う。」という問いかけに対する自分の考えを 400 字以内で述べなさい。
解答は解答用紙の問２－②に記述しなさい。

問題３
あなたとって「友人」とは何か、自分とその友人の関係性を実際にあったエピソードを交えて述べなさい。
解答は解答用紙の問３に 800 字～1000 字で記述しなさい。

＊H29年度より

※出典：ＡＢとも 小林秀雄「X への手紙・私小説論」（新潮文庫）より［課題文Ａ：p57～60 / 課題文Ｂ：p69～72］

小論文　評価のポイント

A)　文章を正確に読み取り、問いに対する的確な答えがなされているか。

B)　自分の主張が論理的に記述されているか。

C)　設問の意図を理解し、要求にそった回答がなされているか。

D)　取り上げたテーマを深く掘り下げて論述し、さらに自分の考えが述べられ、結論が示されているか。

E)　誤字、脱字がないか。

H29年度
「総合実技」
合格作品解説

東京藝術大学
美術学部
先端芸術表現科

問題１
あなたが考える、よりよい人間関係が生まれる為の 「1.道具」もしくは「2.場」を立体や平面で提案しなさい。 ※配布された材料を使用しなさい。（全てを使用しなくてもよい） ※制作台（45cm×45cm）の上にのせて提出しなさい。高さは 50cm 以下にすること。
問題２
問題１でつくったものを説明しなさい。 ※解答用紙に 160 字以上 200 字以内で記述しなさい。

配布物リスト

【配布物】

	配布物リスト　１枚（この用紙）
	カッターマット　１枚
	スチのり　１個

	千枚通し、ペンチ　　各１本
	制作台（45cm×45cm）
	A4 コピー紙　５枚（スケッチ等に使用）

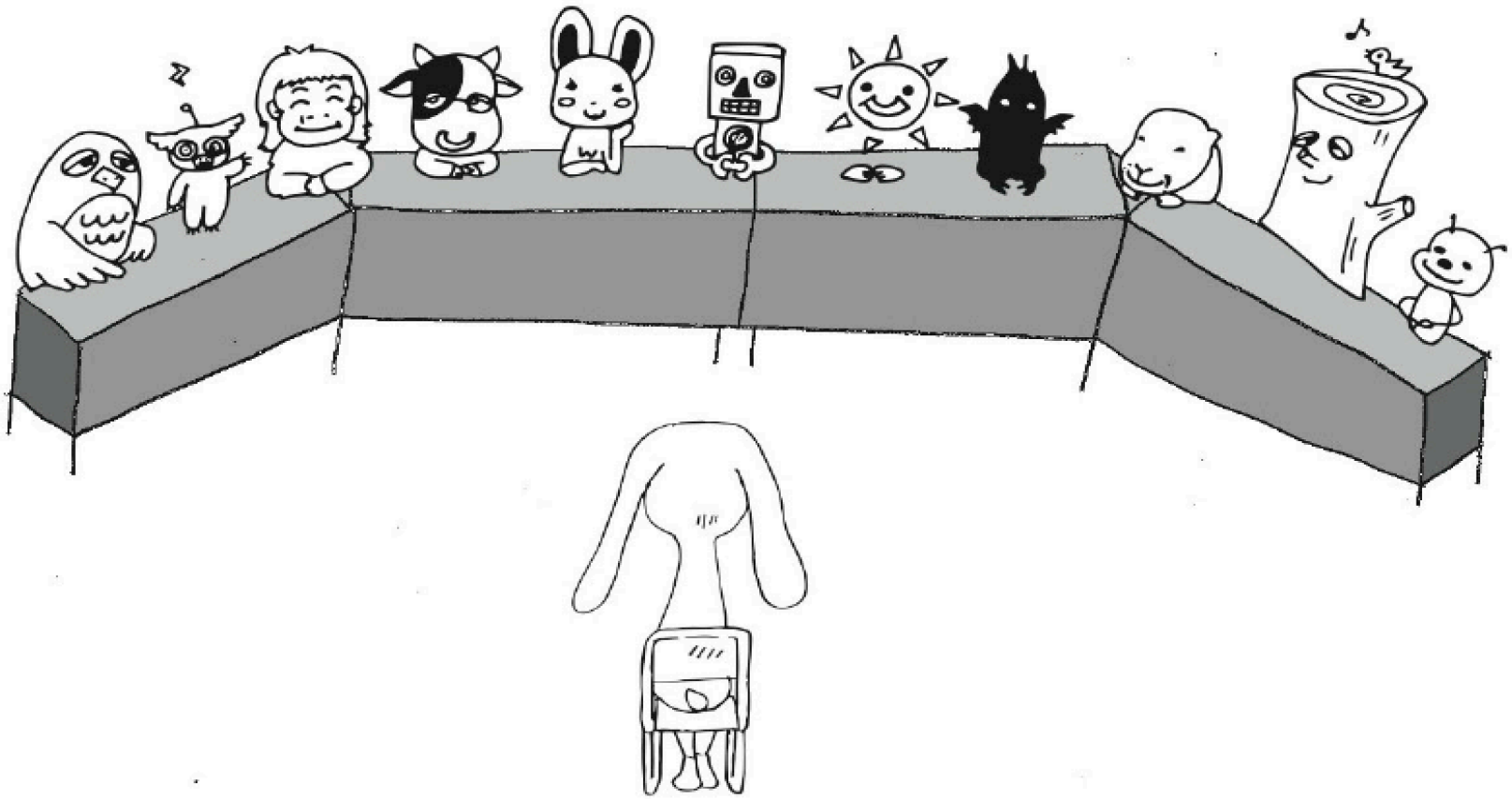
【材料】

	ダンボール(厚)　１枚（90cm×45cm）
	白ボール厚紙　１枚
	角材（0.7cm×0.7cm×90cm）　　３本
	竹ひご 90cm　５本
	針金（1.2mm１巻）
	折り紙　１セット
	イラストボード　（A3 ２枚）

	マスキングテープ　１個
	綿
	タコ糸　　１巻
	布　１枚（90cm×90cm）
	紙粘土　１個
	スチレンボード　（A2 5mm　１枚）

※「総合実技」参考作品写真　５点（webでは公開なし）

「総合実技2日目」



質疑応答

◯先端芸術表現科　実技講習会
日時：８月２１日（月）、２２日（火）
時間：10:00～17:00
申込受付期間：4月1日～6月30日

◯１２月入試説明会、スタジオ見学
日時：12月2日（土）　※時間未定。
　場所：東京藝術大学 取手校地
※同日 学内展「取手アートパス」開催予定。